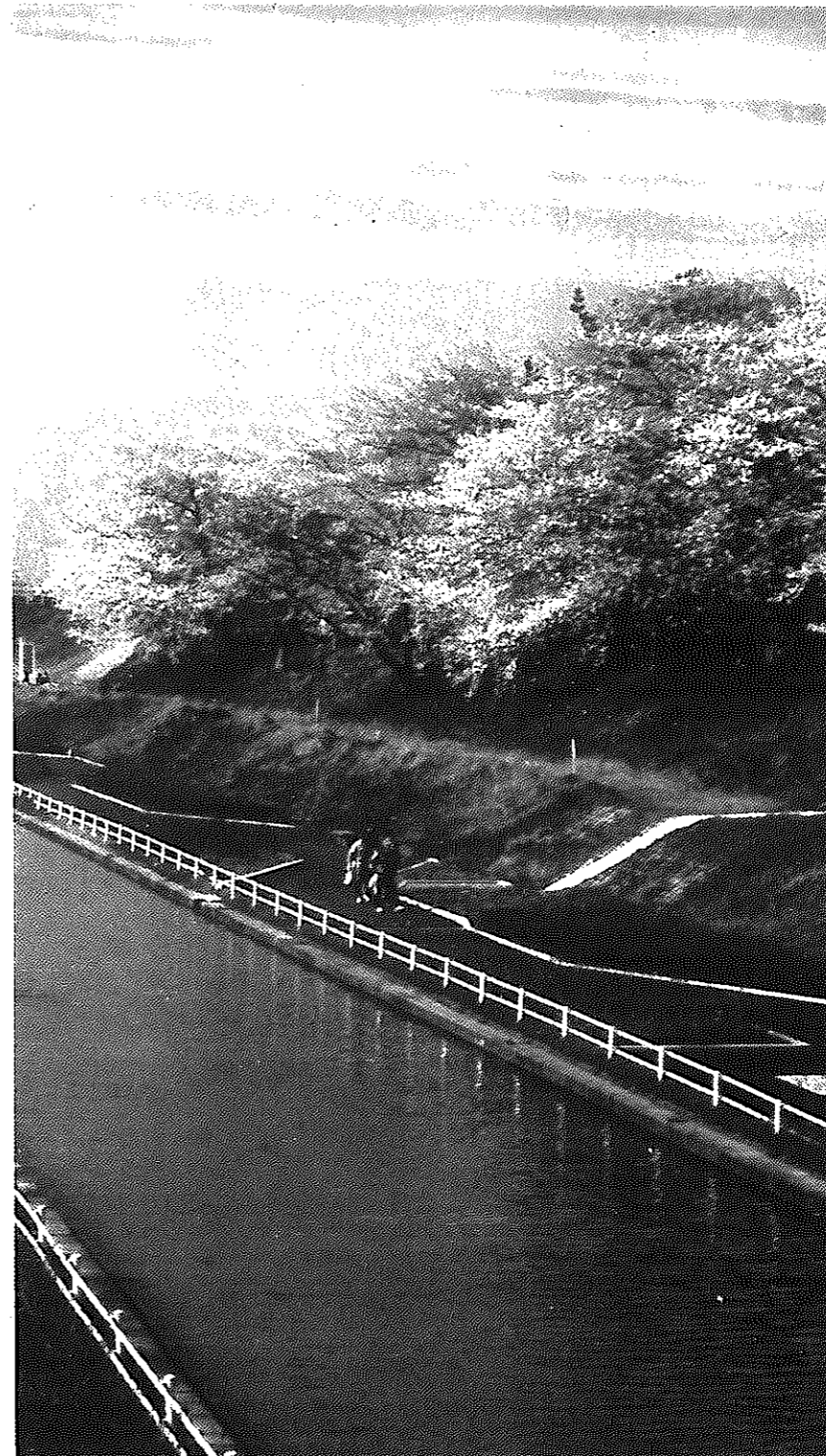


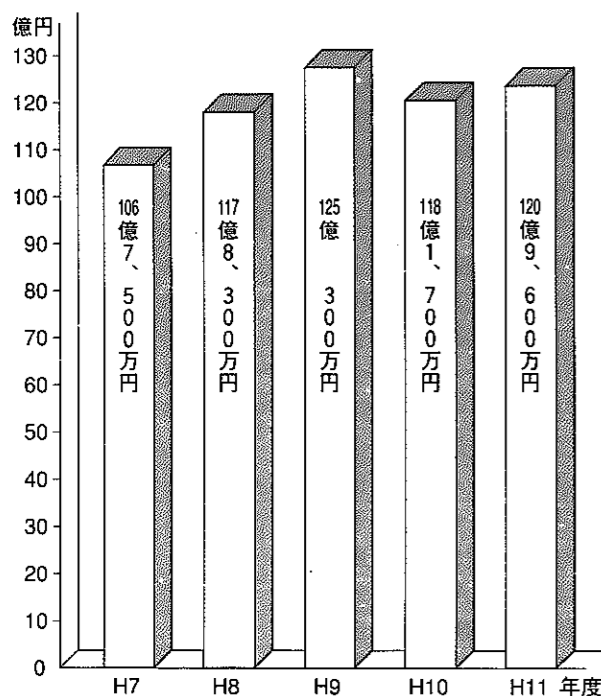
活力あふれる地域経済の再生を目指して

一般会計予算額は120億9,600万円でスタート



平成11年度の一般会計当初予算と特別会計、企業会計予算が決まりました。一般会計当初予算は、120億9,600万円。白根学習館の建設事業をはじめ、商工業振興事業の推進、老人・児童福祉施策の充実などが盛り込まれ、前年度当初に比べて2.4パーセント増になりました。
予算と主な施策を3～9ページでお知らせします。

■一般会計当初予算の推移

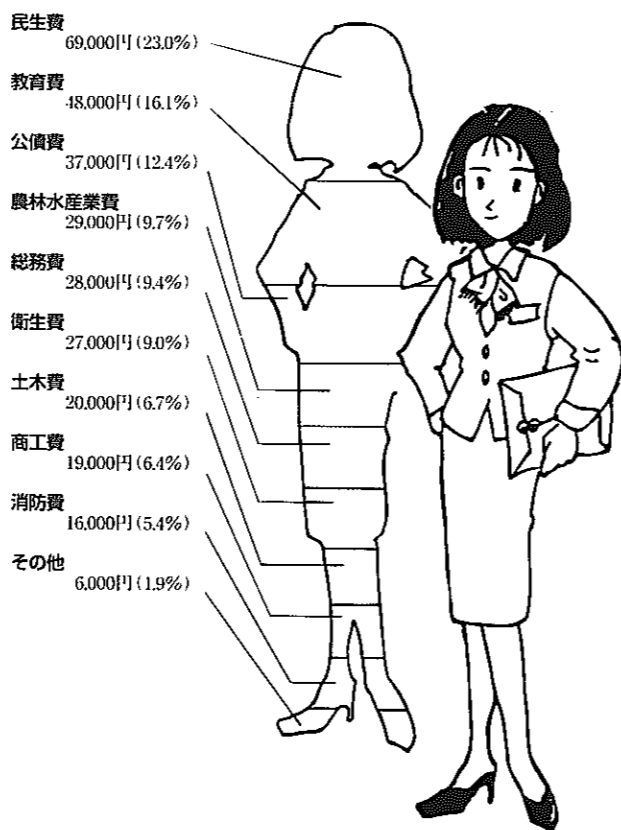


■一般会計当初予算 (市民1人当たり) 前年度との比較

	平成11年度	平成10年度	増減
市民1人当たり総額	299,000円	293,000円	6,000円
民生費	69,000円	63,000円	6,000円
教育費	48,000円	46,000円	2,000円
公債費	37,000円	36,000円	1,000円
農林水産業費	29,000円	29,000円	0円
総務費	28,000円	29,000円	-1,000円
衛生費	27,000円	28,000円	-1,000円
土木費	20,000円	21,000円	-1,000円
商工費	19,000円	19,000円	0円
消防費	16,000円	16,000円	0円
その他	6,000円	6,000円	0円

※各年度とも2月末現在の人口で計算しています。

平成11年度一般会計予算
市民1人当たり 29万9,000円



過去二番目に大きい予算規模、産業振興を重視

平成十一年度の一般会計当初予算額は、百二十億九千九百万円。平成十二年完成予定の白根学習館建設事業費や老人・児童福祉費などが伸びたことなどにより、前年度の当初予算に比べて二・四パーセント、金額にして二億七千九百万円増加し、過去最高であった九年度に次ぐ規模になりました。

重点施策は、白根学習館の建設をはじめ、農業振興事業、商工業活性化事業、老人・児童福祉施策の充実、市街地水害対策事業など。景気低迷が続いて財政状況が厳しい中で、産業振興を重視し、地

景気低迷や恒久的減税で市税が大幅に減少

それでは、予算の中身を見てみましょう。

まず、歳入のうち、市税は前年度当初に比べて二・一パーセント減の四十二億九千七百万円を計上しました。市税のう

域経済再生を目指した予算になりました。なお、一般会計予算額を市民一人当たり(平成十一年二月末現在人口)四万四千四百九十四人に換算すると、年間約二十九万九千円、一世帯当たりでは、約百十三万四千円になり、目的別の歳出一人当たりの予算額は右図のようになります。